

# How to take the Referee License?

柔術を楽しむにあたって、試合は重要なツールと言えます。しかし私たちが、その試合を楽しめるのも、大会、大会運営スタッフ、そして試合を裁く審判の存在あってのことです。では、その審判員になるための資格、レフリーライセンスは、どのようにすれば取得できるのでしょうか。実際にチャレンジしてみました!

協力・日本ブラジリアン柔術連盟 HP: <http://www.bjjfj.com/>  
取材・文=須々あきら



す。(※タケオ君は合格したが現在国外居住) 国際審判員は、国内外すべての公式戦を裁くことができます。

今回、取得を目指すのは、日本ブラジリアン柔術連盟(以下、BJJFJ)が認定するB級審判員の資格です。B級審判員は、黒帯以外、つまり茶帯までの国内公式戦を裁くことができます。連盟登録の紫帯以上(18歳以上)なら誰もが受験資格を有します。

まずは連盟ホームページで審判講習会の場所と日程をリサーチしましょう。日本各地で不定期開催されています。チェックして参加可能なら締め切り日までにメールで申し込みます。

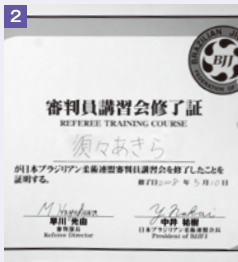
## 審判員講習会

講習会に向け予習をしましょう。連盟のホームページに記載されているルールを読み込んでみると、新たな疑問点が次々と湧いてきます。BJJルールについて本当に難しいですね。

講習会では、参加した全員がルールをプリントアウトして持参し、事前に不明点、質問点などを非常によく研究されています。



1



2

①2008年5月10日、都内ドライブイン本部道場にて行われた講習会。審判部長・早川光由、副部長・桑原幸一の二名が講義した。ルールやジェスチャー、試合の運用について、参加者の細かな疑問点まで丁寧にことごとく応えてくれる。  
②三時間ほど続いた講習会の後、修了証が発行される。この修了証が実技審査へのパスポートとなる。有効期限は1年間。これがあれば何度でも実技審査にチャレンジすることができる。講習会の受講料は五千円也。

た。主催者に対する質問も非常に細かな点に至っていました。さすが審判員を目指す人たちだけあって意識の高さがうかがえました。

ちなみに講習会に参加資格はありません。誰もが参加可能です。紫帯以下であっても、審判員になるつもりがなくても、ルールについて詳しく知りたい人にはお勧めです。

## レフリー実技審査

連盟ホームページで実技審査の行われる大会の日程をチェックしメールで申し込みます。審判講習会修了証を取得したら、有効期限である1年間は、無料で何度でも審査を受けることができます。

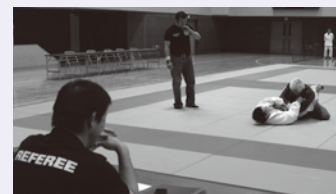
大会前には、黒のスラックス、黒のベルト、黒い靴下、講習会終了証のコピーを用意します。レフリー用シャツ・制服は、事前に連盟HPのリンク先で購入しておく必要があります。あと忘れてならないのは腕時計です。そう、ルーチ(膠着注意)の秒数をカウントするためです。携帯を時計代わりにしている人は要注意です。(※筆者は直前に気付きドンキホーテまで走りました!)

大会当日、指定の時間までに集合してミーティングに参加します。注意点をあらためて確認後、各マットに審判、チェアマン、タイムキーパーなどのスタッフが割り振られます。

試合開始後、数試合はチェアマン席で、もし自分だったら!? とコミュニケーションしながらの見学です。このあたりから徐々に緊張が高まってきます。

いよいよ自分が実践のマットに立つのです。が、まるでデビュー戦、いやデビュー戦以上の緊張に襲われます。しかしそこはこれまで培った試合度胸でしのぎましょう。実際、試合と同じ回数重ねる毎に緊張も収まってきました。審査の試合数ですが、規定では最低

5試合となっていますが、この日は特にレフリーングに問題がなかったとのことで、多めにレフリーングさせてもらい、よい経験となりました。



緊張気味の受験者とチェアマン席で厳しい目を光らせる審査官。実技審査は2008年5月24日に開催された新人戦の白帯、青帯の試合で行われた。実際に重大なレフリーングミスが発生した場合は、審査官はレフリーにタイムストップをさせ、注意と協議をしてから試合を再開させる。あまりにもレフリーングが未熟な場合、規定の5試合前に審査を終了することもありうるとのこと。この日、審査官を務めた桑原幸一審判員には「厳しい中にも、アイコンタクトで励まされ、安心感を与えていただき大変やりやすかった」と受験生が感想。

## 合否の判定

審査後、審査官とミーティングに入ります。審査内容は、全10項目、50点満点中35点で合格となります。幸いこの日受験した二人は、なんとか合格することができました。

経験して感じたのは、いきなりのレフリーングは非常に難しく、また過度に緊張してしまうということ。いきなり実技審査を受けるよりも、まずチェアマン、タイムキーパーなどのスタッフとして参加して、現場の雰囲気慣れしておくのがお勧めです。

せっかく柔術を始めたのですから、より深く柔術に関わってみるのもいいのではないのでしょうか。



審査後のミーティングでは、審査官がレフリーングの内容について、注意点、反省点を細かくチェックし、今後のためにアドバイスをしてくれる。ここで合否が告げられ、合格した場合はライセンス申請を行う。ライセンス発行料は三千円也。後日、審判員証書とライセンスがアカデミーに送られてきたら、晴れてB級審判員ということになる。